※大変好評です。今からでも申込み可能。4科目通し参加費2000円で、、すべての講義動画を参加者限定で配信します。県原水協へ連絡ください。まずは16日の講義を視聴ください。

2022年度日本原水協学校 オンライン

第1回　＜緊急企画＞ 特別講義　3月21日（月・祝）14時～16時30分　**YouTube配信中**

「ロシアのウクライナ侵略と日本―　核兵器禁止条約への日本の参加がいかに求められているか」

講師　緒方 靖夫（原水爆禁止世界大会議長団／日本共産党副委員長）

（原水協通信4月号に要旨を紹介、侵略の即時停止、撤退を-世界の世論と;運動が決定的と強調）

第2回　第1科目4月2日（土）14時～16時　**YouTube配信中**

原水爆禁止運動の歴史　テーマ「核兵器禁止条約を実現に導いた原水爆禁止運動」

講師　高草木 博（日本原水協代表理事）

第3回　第2科目4月16日（土）14時～16時（開場13時30分）

被爆者援護・連帯　**テーマ「被爆者のおかれている現状と課題」**

講師　原 玲子（日本被団協中央相談所相談員）

テーマ「黒い雨訴訟から学ぶ」（仮題）

講師　田村 和之（広島大学名誉教授）

第4回　第3科目4月30日（土）14時～16時（開場13時30分）

「原水爆禁止運動の課題と運動 ― 2022年世界大会の成功を」

講師　安井 正和（日本原水協事務局長）

原水爆禁止長崎県協議会2022年定期総会のお知らせ

☆とき　5月14日(土) 13時30分～15時30分

☆会場　長崎民商会館2F会議室（長崎市元船町5－11）

（オンライン参加も可能です。ご連絡をお願いします。）

日本原水協の2月全国理事会で決定した運動方針は「米中の覇権争いを中心として核保有国間の対立は、東アジアやウクライナでの緊張に見られるように、軍事衝突から核の応酬へとエスカレートしかねない危険をはらんでいる。」「核戦争を防ぐ最も確かな保証は、核兵器の廃絶である。核保有五大国は、NPT第6条、これまでの再検討会議の合意の履行、禁止条約の支持、批准を行い、核兵器禁止・廃絶に誠実にとりくむべきである。」「核兵器禁止条約を力に、これらの逆流を乗り越える世論と運動を築けるかどうかが問われている。」としている。ロシアのウクライナ侵略という新たな情勢の下で、被爆地長崎での運動を発展させる総会です。

6月21日より23日で核兵器禁止条約第1回締約国会議、8月1日からNPT再検討会議が予定されています。「この会議に向けて、核保有国とその同盟国において、核兵器禁止条約への支持と参加を求める世論と運動を大きく発展させ、核兵器禁止へと抜本的に転換させよう。この人類的たたかいの最大の結集点として原水爆禁止2022年世界大会を位置づけ成功させよう。」「7月の参議院選挙で核兵器禁止条約に参加する日本の展望をきりひらこう。」と呼びかけています。

主なプログラム

13:30～14:30　原水爆禁止運動の歴史を学ぶ

日本原水協学校第1科「核兵器禁止条約を実現も導いた原水爆禁止運動」

高草木博さん（日本原水協代表理事）の講演を視聴

14:30～15:30

原水爆禁止長崎県協議会2022年定期総会議事

議事　活動報告・方針提案・予算、決算・役員選出　意見交換　その他

ひまわりアクションを起こそう

日本原水協が呼びかけた「ひまわり募金」。長崎では、早速長崎うたごえ協議会より3月29日のスタンディングに寄せられた募金が届けられました。子どもたちから高齢者まで応えてくれ、「長崎にも優しか人がおるとですね。勇気のある、初めて見ました。」と通りがかった方が関心を示してくれました。

5月1日のメーデーの日は午後1時～長崎市内浜町アーケード入口の鉄橋で「ひまわりアクション」を計画しています。多くの方に参加を呼びかけます。ウクライナの事態が戦中戦後の日々が重なると、全国各地で核兵器使うな！国連憲章守れ！被爆者が立ち上がっています。

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求める署名現物送付についてのお願い

4月22日の午後3時30分から、衆議院第1議員会館・地下1階大会議室で「禁止条約参加署名」日本政府（外務省）への共同提出（第1次）のつどいを開催します。3月22日の集約で100万人分を超えています。4月18日までには県原水協へ届けて下さい。

2022年4月8日news　原水爆禁止長崎県協議会　〒850-0035 長崎市元船町5-11-402
ＴＥＬ 095-895-9106　ＦＡＸ 095-895-9102Ｅ－ｍａｉｌ：nagasaki65@forest.ocn.ne.jp